

１１月の園だより

令和８年１１月２日
目黒区立菅刈保育園園長

園の玄関先でお迎え時に「寒いから長袖着て帰ろう」という保護者の声が聞こえるようになりました。朝晩の気温が一気に下がり、暗くなるのも早くなってきました。それでも子どもたちは“聞こえていませ～ん“とばかりに靴を履くとそのまま走り出し「早く帰ろうよ」と言う保護者の声も子どもたちの耳には届いていないようで、しばらく園前の広場で友達と追いかけっこや木の実拾いに夢中になっています。

先月は運動会と芋掘り遠足という二つの大きな行事がありました。両日とも秋晴れとなり、芋掘り遠足では4.5 歳児クラスの子どもたちが川越市まで大型バスに乗って出かけました。昨年は雨が降ったので、4.5 歳児クラスともに初の芋掘りです。1 時間以上のバス旅を快適に過ごせるよう職員もバスレクを工夫し、楽しみながらあっという間に現地に到着しました。到着したとたん「おなかすいた～」「お弁当食べたいよ」と、みんな芋掘りよりもお弁当が楽しみで仕方がない様子でしたが「まずはお芋を掘ってからね」ということで畑に向かいました。その日は風が強く、時折土ぼこりが舞う中でしたが「10 本の指を使って、もぐらさんみたいにカいっぱい掘ってみよう」と職員が手本を見せ、土をかき分けていくとさつまいもが顔を出しました。「あ、見えた」という声につられて、みんなの掘る手にも力が入ります。ところが、土の上の方はさらさらしていても、その下は硬く、指がなかなか入っていきません。「もう少し掘ってみよう」と声をかけ、一緒に掘っている隣で「エイッ」という声とともにボキッという音が聞こえました。掘り出せないことが待ちきれずに引っ張ってみたようです。目が合うと「えへへ」と苦笑いの表情でした。それでもみんな頑張って掘り出し、大満足の芋掘り遠足になりました。今月は、掘ってきたお芋で焼き芋会を行います。3.4.5 歳児クラスがお芋を洗って新聞紙で巻き、水に浸してアルミホイルで包みます。園庭で焼き上がった出来立てのお芋をみんなで食べます。甘くて美味しい焼き芋ができますように。

１１月の予定

- 焼き芋会（全園児）
- 秋の西郷山（4.5 歳児クラス）
- 交通安全教室（3.4.5 歳児クラス）
- 歯科検診（全園児）

上旬　身体計測　中旬　避難訓練

子どもたちの可愛らしいひとことを紹介します



うさぎ組（4 歳児クラス）

菅刈公園へ散歩に行くと、Ａちゃんが「先生、たこやきやりたい！と話してくれました。「たこやき？」と聞くと「ぐるぐるするやつ」「空を飛ぶの」と身振り手振りで一生懸命説明してくれます。保育士が悩んだ末にようやくＡちゃんの言っていた“たこやき”が“たこあげ”だと分かりました。

りす組（3 歳児クラス）

園庭でオシロイバナの種を見つけたＢちゃん。手のひらにのせてじっくり眺めながら、黒い種を「ちっちゃいアボカド」、黄緑色の種を「ちっちゃいやさい」に見立てて楽しんでいました。色や形、表面のでこぼこした様子など、よく観察しているからこその発見に思わず感心させられます。子どもならではの豊かな発想が感じられる、かわいらしい場面でした。

ひまわり組（2 歳児クラス）

病院ごっこをしている時、Ｃちゃんがお医者さん役になり「“おすくり”飲んでくださいねー」と患者さんに薬を渡していました。隣で聞いていて、かわいさに思わず笑顔になりました。

過ごしやすい季節になってきました。
今月は、０・２・５歳児クラスの様子をお伝えします。

つぼみぐみ（０歳児クラス）
『 小さな探検隊 』



園周辺へ散歩に出かけた際、保育士がどんぐりを見つけて指さすと、嬉しそうに拾っています。少し進んだところでまたどんぐりを見つけたので「もっとあるかな」と探す真似をしてみると、自分でどんぐりを見つけて「あっ！」と発見した喜びあふれる表情を見せてくれました。「あったね」と声をかけると、満足そうにぎゅっと握りしめる姿がとても印象的でした。これからも子どもたちのたくさんの「見つけた！」を一緒に喜びながら、身近な自然に触れ、一人ひとりの好奇心に寄り添っていきたいと思います。

ひまわりぐみ（２歳児クラス）
『 茂みをかき分け 』

西郷山公園の広場には、草が子どもたちの胸ほどの高さまで伸びている場所があります。草をかき分け、足を高く上げながら一生懸命に一歩一歩進む姿は、子どもたちにとって大冒険さながらで、まるで映画のワンシーンのようです。少ししゃがむだけで体が見えなくなるため、隠れるにはうってつけです。オオカミ役の保育士に見つからないよう息をひそめ、時には友達と顔を見合わせながら、いつも以上のドキドキ感を味わい、楽しんでいます。



きりんぐみ（５歳児クラス）
『 友達と意見を出し合い やりたいことを叶える 』



園庭では、友達と転がしドッジボールやサッカーなどを楽しんでいます。夢中になって遊んでいると年下の子にボールが当たりそうになる場面もあり、安全に遊ぶ方法についてクラスで考えることになりました。子どもたちから「遊ぶ場所を決めればいい」というアイディアが出ると「場所を決めるだけでは小さい子にはわからないよ」と気付く姿が見られました。そこでタイヤを使って遊ぶ場所を区切ることを考え、保育士に絵を描いて提案してくれました。「やりたい」という思いを大切にしながら友達と考え、工夫し、みんなが楽しんで遊べる方法を生み出しています。